

埼玉版SDGsの推進について

埼玉県企画財政部計画調整課SDGs推進担当

埼玉県では、令和2年度から「埼玉版SDGs」を推進しています。「埼玉版SDGs」とは、「誰一人取り残さない、持続可能な発展・成長をする埼玉県づくり」を実現するため、県民、企業・団体等、市町村など多様なステークホルダーとの協働を通じてSDGsを推進する取組です。今回はこれまでの取組とその内容について御紹介させていただきます。



SDGs 未来都市
埼玉県

まずは県庁内からスタート ——そして「SDGs未来都市」に選定

まずは令和2年4月に県庁内に「埼玉県SDGs庁内推進本部」を設置しました。本部長に知事、副本部長に副知事、そのほか特別職、各部局長等で構成されており、部局横断で全庁一丸となって埼玉版SDGsを推進していくことを決定しました。

この本部において、本県の特性を生かした埼玉版SDGsを推進する上での重点テーマを2つ設定しました。

1つは、豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉の実現を目指す「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」。もう1つはあらゆる主体が一体となって2030年の社会を支える子ども・若者を育成していく「未来を創る人材への投資」です。

埼玉版SDGs

県民や企業、NPO、大学、金融機関、各種団体など多様なステークホルダーとの協働を通じ、ワンチーム埼玉でSDGsを推進



令和2年度はこれらテーマごとの庁内部局横断型ワーキングチームにより事業検討を行い、令和3年度当初予算事業に結び付けました。

また、テーマ「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」のワーキングチームで検討した内容を基に、SDGsを実現するポテンシャルの高い自治体を国が選定する「SDGs未来都市」に提案を行いました。

その結果、提案内容とこれまでの取組が評価され、令和3年5月、令和3年度「SDGs未来都市」に選定されました。

これを機に、水と緑をイメージした埼玉版SDGsのロゴマークを作成したところです。(左図)

埼玉版SDGsの積極的なPRと推進を行っていくことで、地域経済や社会に貢献する好循環につなげていきたいと考えております。

多様なステークホルダーとの連携の場 —— 埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム

次に、好循環の形成に向けて必要なことは、多様なステークホルダーの参画と連携です。

埼玉県が事務局となり、令和3年9月に官民連携の場である「埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム」を設置しました。

埼玉版SDGsの趣旨に賛同する、県内に本社または事業所を有する企業・団体等であれば随時入会が可能です。(行政機関も可能で、県内全63市町村が入会済です。)

令和4年1月末現在の会員数は836者となっております。多くの企業・団体等に御賛同いただいております。

入会いただくことで、SDGsの最新情報が得られるシンポジウムへの参加や、会員名簿を併せたメールマガジンの月2～3回程度配信など、会員相互の交流が可能となります。また、令和3年度には埼玉版SDGsの重点テーマごとに2つの分科会を設置し、分科会内に検討テーマごとの計8部会を設け、官民連携での事業・課題検討を行っています。

シンポジウムについては、令和2年10月にさいたま文化センター大ホールで第1回を開催し、座席を1席おきにするなど新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を万全に行い、500人を超える御参加をいただいたとこ



ろです。

その後は新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、WEBでの開催としており、令和3年5月に第2回、令和4年2月3日に第3回を開催したところ、多くの御参加をいただきました。

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム

隨時会員募集中

「ワンチームで埼玉版SDGsを推進する」という目的に賛同する企業・団体等の方が入会できる官民連携の場です。

【入会要件】

県内に本社・事業所等を有する企業・団体等であれば、随時入会可能です！

【入会特典】

- 入会金・年会費は無料です。
- シンポジウム等に参加できます。
- メールマガジンの発信・受取ができます。
- プラットフォーム会員の名簿が手に入ります。
- 埼玉版SDGs推進アプリへPR動画を掲載できます。(動画掲載にはアプリへの投稿も別途必要)

担当：埼玉県 企画財政部 計画調整課 SDGs推進担当
電話：048-830-2133 e-mail: a2130-06@pref.saitama.lg.jp

SDGs プレイヤーの証 ——「埼玉県 SDGs パートナー」登録制度

併せて、SDGs を広めるために SDGs を実践するプレイヤーを増やすことが必要です。

令和2年11月に自らSDGsに取り組む県内に本社または事業所を有する企業・団体等を「埼玉県SDGsパートナー」として登録する制度を創設しました。

登録要件は大きく2つあり、

- ① SDGs 達成に向けた企業・団体等の取組方針を宣言し、「環境・社会・経済」の三側面について重点的な取組及び指標を設定
- ② 持続可能な活動のために基本的に取り組むべき人権・労働、組織体制など6分野について、企業・団体等が取り組むことを記載としております。

令和3年11月末の第4期分までで計448者を登録しました。第5期も100者を超える申請をいただき、今後も年3回募集・登録を行っていきます。

登録者には登録証を送付するとともに、県のホームページでPRを行っています。また、県が低利で行う

制度融資の対象となっています。併せて、パートナー登録者専用のロゴマークを令和3年9月に作成しました。登録者が活動のPRや名刺、企業案内などに使用することができます。(営業目的使用や商品に掲示することはできません。)

SDGs を学んで感じてポイントGET ——埼玉版SDGs推進アプリ「S³(エスキューブ)」

さらに、全県に普及させるためには、企業・団体等のみならず、県民一人ひとりに埼玉版SDGsに参加していただきたいと考えています。

そこで、令和3年度からは新たに「県民」を対象とした取組も強化していくこととしました。

具体的には、スマートフォンアプリを用いた情報発信、学校における環境教育チラシや、イベント等におけるパネル展示による普及啓発などにより、広く県民にSDGsが浸透していくよう促進していきます。

特に、スマートフォンアプリについては、『S³(エスキューブ)』という名称で令和3年11月1日にリリースをしたところです。コンセプトは「SDGsを学んで 感じて ポイントGET」です。



「SDGsを学ぶ」や「SDGsクイズ」など動画やテキスト、クイズなどでSDGsを楽しく理解し、学べる仕組みとなっています。また「毎日SDGsチェック」など一人ひとりのSDGsに貢献する行動に応じてポイン

トが得られ、貯めたポイントでくじにチャレンジすると賞品を獲得できる機能があります。

多くの県民の方にダウンロードしていただき、親しみのあるアプリにしたいと考えています。

SDGsを学んで感じてポイントGET
埼玉県公式スマートフォンアプリ「エスキューブ」

「最近よく耳にするけれど、そもそもSDGsってなに？」
 その疑問を動画や文章・クイズで楽しく理解できる
 埼玉県公式スマートフォンアプリです。

利用料無料
※通信料はかかります

SDGsの取り組みでポイントが貯まります。
貯めたポイントでくじに参加できます。
(埼玉県内在住・在勤・在学のいずれかにあてはまる方が当選対象となります。)

アプリをインストールし初期登録

- iPhone版 (App Store)
- Android版 (Google Play)

ポイントを貯める

- 毎日SDGsチェック
- SDGsクイズ
- イベント参加

貯めたポイントでくじにチャレンジ
 WAONポイント500円相当や協賛店サービスを受けられる特典カードが当たる!
(協賛店は順次公開予定)

- 1 SDGsを学ぶ**
 動画やテキストで、SDGsのことを手軽に学ぶことができます。
- 2 埼玉県の風景**
 県内の名所や観光スポットの写真を表示します。
- 3 ポイント**
 SDGsの取り組みのセルフチェックなどで、ポイントを獲得。貯めたポイントで、くじに参加できます。
- 4 まいたま**
 埼玉県公式スマートフォンアプリ「ポケットブックまいたま」にアクセスできます。
- 5 最新のお知らせ**
 県等からの最新のお知らせが表示されます。
- 6 イベント**
 SDGsイベントに参加してポイントがゲット。

●事業制度全般のご不明点は、埼玉県計画調整課SDGs推進担当へお問い合わせください。
 電話番号 **048-830-2133** MAIL a2130-06@pref.saitama.lg.jp

●アプリ操作方法のご不明点は、下記コールセンターへお問い合わせください。
 ☎ **0570-077-122** (埼玉県) または「エスキューブアプリ」とお伝えください。担当者より詳しく丁寧に連絡します。
 埼玉県 エスキューブ 検索

詳しい情報はHPへ <https://saitama.toqtsum.jp>

終わりに

武蔵野銀行におかれましても、令和3年9月から、設定したSDGsやESGに関連する事業挑戦目標(SPTs)の達成に応じ融資利率が変動する融資「むさしのサステナビリティ・リンク・ローン(むさしのSLL)」の取り扱いを開始されています。

SPTsの設定に当たっては、埼玉県の「地球温暖化

対策計画制度」におけるCO₂排出量(削減)目標を活用するなど、県と連携してSDGsを推進していただいています。

今後もあらゆるステークホルダーとの連携により、埼玉版SDGsの推進に向けた取組をより一層進め、ワンチームとなって「日本一暮らしやすい埼玉」を実現してまいります。

官民連携プラットフォームへの入会、SDGsパートナーへの登録、スマートフォンアプリ「エスキューブ」の紹介などを掲載した県のホームページについては、以下のURLから御覧いただけます。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0102/sdgs/saitama-sdgs.html>